

<株式会社エフエム東京 第343回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成19年10月2日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社10階大会議室
3. 委員の出席：委員総数7名（社外7名 社内0名）

◇出席委員（5名）

子安美知子 委員長 青池慎一 副委員長  
内木文英 委員 横森美奈子 委員  
渡辺貞夫 委員

◇欠席委員（2名）

内館牧子 委員 香山リカ 委員

◇社側出席者（10名）

後藤 代表取締役会長  
富木田 代表取締役社長  
岡田 専務取締役  
稲田 常務取締役  
小谷 常務取締役  
園城 常勤監査役  
黒坂 執行役員編成制作局長  
吉田 編成制作局編成部長  
森田 編成制作局番組制作部長

<オブザーバー>

春山 番組プロデューサー

◇社側欠席者（0名）

【事務担当 黒坂放送番組審議会事務局長】

4. 議題

- (1) 最近の活動について
- (2) 番組試聴：「Panasonic Melodious Library」  
2007年8月12日（日）10：00～10：30放送分  
<試聴時間：約20分>

＜議事内容＞

議題1：最近の活動について

◎ 10月以降の番組制作体制について

10月改編は前回ご説明致しましたポイントで実施して参りますが、編成制作局ではこれを機に、番組制作体制を見直し、番組のよりダイナミックな動きを生み出すためチーフプロデューサー制を導入します。従来どおりプロデューサーが各ゾーンのプロデュースを行います。2名の局次長をはじめとする各部の部長、担当部長がゾーンを分担し、チーフプロデューサーとしてそれぞれのプロデューサーをバックアップしながら、音楽業界とのパイプの強化、番組のパブリシティの強化など、活性化のための施策を今以上に推進していきます。

さらに、日々の番組の質の向上を図るため、従来ゾーンを跨って担当していた社員ディレクターが、各々1つのワイド番組を中心に担当する体制を構築、現場の責任体制を明確化いたします。

◎ 緊急地震速報に関する取り組みについて

地震の初期の小さな揺れから、大きな揺れの規模と発生までの秒数を予測する緊急地震速報につきまして、民放TV各局とNHKは10月1日より運用を開始しました。これに対し、民放連の組織として、ラジオでの運用方法について在京ラジオ6社（TBSR&C、文化放送、ニッポン放送、エフエム東京、J-WAVE、RF ラジオ日本）で行っております検討会は、6社の運用開始予定を来年・2008年4月1日とすることと予定しています。

緊急地震速報の運用につきましては、音声だけで不特定多数のリスナーに速報を伝えるラジオの場合、TVのテロップ放送と異なり、通常の番組を中断して放送するインパクトの強さから、二次被害の懸念が生じており、とりわけ、運転中のドライバーによる衝突・追突事故等の発生や、家庭内での急な行動によるアクシデントなどが心配されています。このため6社では、ラジオにおいては、今後さらに周知徹底のための事前PR活動が不可欠であり、放送の内容についても詳細に詰めていく必要があると判断しました。

民放TV局とNHKは「震度5弱」以上の場合速報を実施しますが、過去の地震災害の実態や二次被害発生への懸念等を踏まえ、在京ラジオ6社では

「震度5強」以上で速報を実施することと予定しています。

また、速報の「報知音」はNHKを含めたラジオ全局で同一の音声を使用することとし、報知音に続けて放送する具体的な表現については6社間で引き続き検討して参ります。

◎「SCHOOL OF LOCK!」が全国コンサートツアーを10月に実施

「SCHOOL OF LOCK!」（毎週月～木曜 22:00～23:55/JFN系 38局ネット）が、昨年10月に続き、今年は大阪・福岡・東京の3会場をまわる全国コンサートツアー『SCHOOL OF LOCK!LIVE TOUR YOUNG FLAG』を開催します。

全会場にパーソナリティのやましげ校長・やしろ教頭が出演するほか、10月11日（木）ZEPP OSAKAでの公演にはレミオロメン・チャットモンチー・LOST IN TIME、12日（金）ZEPP FUKUOKA 公演には ASIAN KUNG-FU GENERATION・YUI・ジン、19日（金）の ZEPP TOKYO の公演には BUMP OF CHICKEN、銀杏 BOYZ、THE BACK HORN という、計9組の今の10代に最も旬な人気アーティスト達が出演します。9月初旬に番組内でチケット先行予約を行ったところ、即座に完売いたしました。

このイベントの様子は、「SCHOOL OF LOCK!」の番組内で、順次オンエアする予定です。

◎「あ、安部礼司」脚本集を発売

番組開始以来人気を博しているラジオドラマ「NISSAN あ、安部礼司～beyond the average～」(毎週日曜17:00～17:55 全国37局ネット)から、初の脚本集『あ、安部礼司 脚本集 SEASON1』を、10月10日(水)に発売いたします。

『あ、安部礼司 脚本集 SEASON1』には、番組スタートの2006年4月から2007年3月までに放送された脚本が収められています。

出版する際に、口コミ効果を狙うため、あえて全国書店ではなく、ネット書店の最大手「アマゾン」のみでTOPページでの広告もセットにして、2000部限定販売として予約を受け付けたところ、放送での告知後に「アマゾン」の「和書TOP 100」において1位となりました。それ以降口コミで広がり、10日間にわたり1位をキープするなど、予想を大幅に上回る申し込みがあったため、急遽限定販売数を8000部に引き上げましたが、現在、発売を待たずに完売予定となっています。

## 議題2：番組試聴

【番組名】「Panasonic Melodious Library」

【放送日時】

2007年8月12日（日）10:00～10:30 放送分

【番組概要】

作家・小川洋子さんをパーソナリティに迎え、今年7月からスタートしましたこの番組は、今の時代に読んでおくべき文学の名作を毎回1作選定し、小川洋子さんの感性を通じて、時には時代の心理に照らし合わせて深く洞察しながら、いま、文学に接する楽しみを伝えています。

番組タイトルは、読書をしていると音楽が聴こえてくるような、MUSIC BOOK 的なイメージを込めており、その作品にちなんだ選曲により、文学×音楽の相乗効果によるイマジネイティブな時間を目指しています。

FM放送も文学作品も、同じ「絵のないことばの世界」であり、想像することの面白さを追求して参ります。

その中から今回は小川洋子さんが作家を志す原点となった「アンネの日記」の回をご試聴頂きます。

<試聴時間：約20分>

【委員の意見および社側説明】

（「○」委員意見／「■」社側説明）

○小川さんがヨーロッパまで行って、「アンネの日記」の世界に触れてきたことが、よく活かされていた。いい番組だと思う。小川さんだけでなく、他にもこのような素晴らしい方が出演する番組をつくっていただきたい。

- 思わず引き込まれて聴いてしまった。音楽と文学の結びつきを表すことで、FMならではの表現を目指したということが素晴らしい。音楽も文学も、これだけ大量に消費されていく世界の中で、どう文化的資源を使っていくかというところがいま試されている。
- 小川さんによるところもあると思うが、文学に音楽を合わせることで相乗効果を生み出し、完成度の高いものになっている。小川さんの人柄、声も、パーソナリティとして魅力的である。
- このようなキーとなる番組をいくつか持つことによって、他の番組にも誘引したり、局のイメージをつくったりしていくことが大事なのだと思います。企業広告と組むというのも一つの効果的なやり方なのではないか。
- 自分もアムステルダムを訪れたことがあるが、涙が止まらなかった。一方で、「アンネって誰？」という人もいる。このような番組の意義を非常に感じる。小川洋子さんは、「博士の愛した数式」を舞台上で拝見させて頂いたが、素晴らしい才能をもった方だと思った。
- どういう発想からこの番組は生まれたのか？
- 日曜の午前に落ち着いて聴ける番組という発想から、本について、「朗読」ではなく「語れる」人を、ということで人選した結果、この番組になった。
- アシスタントの藤丸アナの語り口が、へりくだり過ぎることなく、さっぱりしていてよい。本について語るのは楽しいことだ、ということが彼女との語りの中で伝わってくる。藤丸アナによるブリトニー・スピアーズという選曲もびっくりだったが、こういうしっとりした曲もあるんだよ、という彼女なりの視点があって、「自分なりの見方がある」というこの番組のテーマをうまく表していると思う。ぜひ今後も、いい形で続いてほしいと思う。
- 先日、沖縄で集団自決に対する集会に11万人が集まったというニュースがあったが、その中には10代の人たちもいた。若者にも、伝えていけば伝わるんだということを実感できた。この番組に寄せられたリスナーからの声を見ても、10代の人からも、「文学の楽しみを知った」というメッセージが寄せ

られている。自信をもって、今後も取り組んでいって欲しい。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

① 放 送：番組「Heart Sharing」

10月28日（日） 6：00～8：30放送

② 書 面：TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット：TOKYO FMホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会は11月6日（火）に開催することを決めた。

以 上